

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長
K. R. ラビンドラン 氏

例会予定 4月13日 地区研修・協議会報告
4月20日 地区大会参加振替

VOL. 53 No. 33(通算No. 2474)

2016年 4月 6日(水) 例会プログラム

点 鐘
君が代・ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
報告 会長エレクトセミナー 斎藤広巳エレクト
財団補助金セミナー 北村英明副幹事



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。

鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



4月は母子の健康月間

例会報告 VOL. 53 No31 (No. 2472) 3月23日(水)曇り (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話

水海道第二高等学校所属
マルタ会様

ビジター

卓話者 水海道第二高等学校 中村保子先生、生徒の皆さん

地区大会委嘱状



瀬戸隆海会員

諸 報 告

2016-2017年度 組織表 斎藤広巳会長エレクト

別紙の通り

.....拍手.....

幹 事 報 告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 藤代RC 4月18日(月)→4月17日(日) 地区大会参加

会 長 挨 拶 海老原良夫会長 3月30日「水害復興とボランティア活動の先駆者」



ボランティア活動にも熱心に取り組んでおられる水海道二高のマルタ会の皆様
に本日はこのまちの「水害復興とボランティア活動の先駆者」鈴木頂行という人物
をご紹介します。

明治40年7月13日、第一高等学校(現・東京大学)の卒業式で校長新渡戸稲
造は告辞で『・・諸子は天下の秀才である。精進次第で名誉栄達も手にし英雄とな
るであろう。そして自らの立身出世のみならず重要なことは隠れた英雄の発掘で
ある』と、述べています。

平成25年夏。私は『常総の隠れた英雄・鈴木頂行とその時代』という本を出版しました。

平成28年春。竜ヶ崎一高生徒グループの研究論文『常総市水海道の埋もれた思想家を発掘する・鈴木
頂行伝』が東京都の歴史文学賞高校の部最優秀賞を受賞しました。

19世紀後半前半。常陸・下総地方の農村は度重なる水害、飢饉で存亡の危機に瀕していました。その時
代にこの地の水害復興に相互扶助の精神を説きボランティア活動を実践し当時の水海道村を救済したのが
鈴木頂行という人物でした。

昨年9月。当地は未曾有の大水害に見舞われました。水海道二高も被災され、通学する多くの生徒さん
もご家族も大切なモノを失くされました。未だ復興道半ば傷心の日々をお過ごしの方も多くおられることと存じ
お見舞い申し上げます。

4月は母子の健康月間

私も、妻と二人の生活の拠点であった橋本町の自宅が水没し一階の全ての家財道具を失くしました。罹災後暫らくして携帯電話が通じるようになったころ、都内在住の男性から私が出版した『常総の隠れた英雄・鈴木頂行とその時代』の購入申し込みがありました。が、在庫本が水没してご希望に添えませんでした。

私は、平成17年に当時高校3年生の次女を癌で亡くしました。平成27年9月には著作本も水害で流出して失くしました。

人間の命も、紙の本も、消滅するものであるということを知りました。

あの悪夢の日から半年が過ぎ、私は今、失くした著作本の電子書籍化を目指しています。

亡くなった次女の命を蘇らせることは叶いませんが、電子書籍ならば紙の本の宿命である火災、水害による消失を免れ、永遠の命を宿すことができると考えたからです。

私が水害で失くした著作本『常総の隠れた英雄・鈴木頂行とその時代』は水害復興とボランティア活動の先駆者鈴木頂行の紹介と、このまちの明治大正生まれの古老が「水海道の歴史」を自らの青春時代に投影し、生き生きと、誇らしげに語ってくれた話を収録した『みつかいどう・夢街道物語』を併せて載せたものでした。

本日のお客様である水海道二高生徒の皆様へ。私は、皆様が将来インターネット上で私の著作本にアクセスしていただき、もう一度皆様と再会できる日が訪れるならば幸いです。

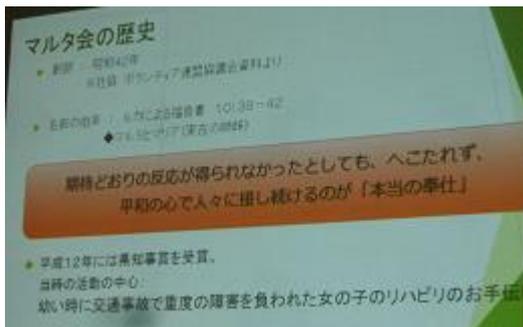
最後にクラブの会員の皆様にもお知らせします。現在病を得て入院加療中の飯塚三夫会員が、かつてこのテーブルでスピーチした「戦時学徒軍需工場動員」の卓話もネット上で甦ることになるように、私は自らの著作本の電子書籍化を目指しています。

外部卓話 水海道第二高等学校 中村保子先生、生徒の皆さん「マルタ会の活動報告」



こんにちは。水海道第二高等学校マルタ会です。今日はロータリークラブの皆様の前で日頃の活動について発表する機会をいただき、とても緊張しておりますが皆様に伝わるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

1 マルタ会の歴史：社会福祉協議会の資料によると創部は昭和42年と大変長い歴史をもっています。名前の由来は、マルタという語で関連するものを調べたところ、聖書の「ルカの福音書」10章38節から42節までのある姉妹「マルタとマリア」の話ではないかと考えました。その話は姉妹の住んでいる村にイエス様が立ち寄るといふものです。姉のマルタはイエス様をもてなすために忙しく立ち働いていたのですが、妹のマリアはイエス様の傍で話を聞いているだけでした。そんな妹の姿を見て苛立ち、イエス様に咎めてもらおうとお願いした時イエス様は「彼女は彼女なりのもてなしを私にしてくれている」とおっしゃったということです。この話を知ってから、私は本当の奉仕とは見返りを求めず、相手の為を思うことだと思いました。



現在のマルタ会	
▶ 部員数	
1年生	8名 (男子5, 女子3)
2年生	12名 (男子2, 女子10)
合計	20名

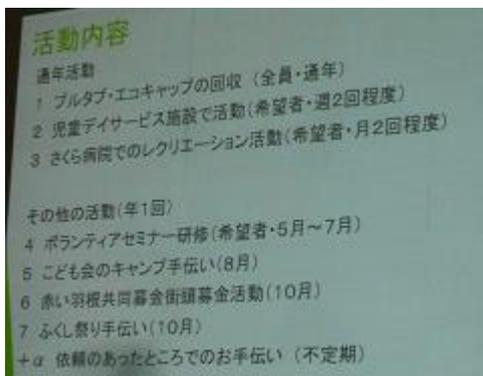
4月は母子の健康月間

平成 12 年には県知事賞を受賞しました。当時の活動の中心は、幼い頃に交通事故で重度の障害を負われた女の子のリハビリのお手伝いで、毎日交代しながら通っていたそうです。

2 現在の活動： 部員20人で活動しています。全員で行っているのはプルタブ・エコキャップ回収活動で、その他の活動は希望者が行っています。以下に私たちの活動についてご紹介します。

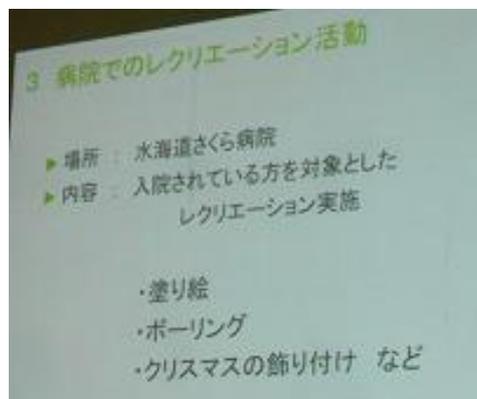
(1)プルタブ・エコキャップの回収

私たちは、通常活動として毎月プルタブとエコキャップを回収しています。生徒たちだけでなく先生方、市民の方や地域の企業の方もご協力して下さります。マルタ会では、集められたプルタブを業者でお金に換金し車椅子に変える活動を行っております。現在総額 13,000 円になります。また、「エコキャップ推進協会」の活動に参加しています。神奈川県的女子高生の「キャップを捨てるのはもったいない」という思いからスタートし、キャップのリサイクル活動を通して「環境や貧困をはじめとした世界の課題、地域再生などについて学ぶ機会を提供すること」を第一義として活動している協会です。全国から集められたキャップはプラスチック製品にリサイクルされたり、貧しい国々の子どもたちを病気から守るワクチン代として使われます。私たちはワクチン代に使われることを目的に回収しています。水海道二高では現在までに累計16万2790個のキャップを回収してきました。プルタブもエコキャップもより多くの人の助けとなるよう、来年度も積極的に回収活動に励みたいと思います。



(2)愛音(あいね)キッズクラブ

愛音キッズクラブは障害を持った子どもたちが主に利用する放課後や休日の児童デイサービス施設です。プレイルームにある滑り台やボールプールで遊んだり活発な子もいれば、折紙やお絵かきをしたりDVDを見てゆったりと過ごす子もいて、それぞれが個性を持って楽しく遊んでいます。おやつの中には、自分たちで作ったパンをみんなで食べることもあります。また、天気の良いときには近隣の公園に出かけてブランコや滑り台、アスレチックで体を動かしに行きます。天気が悪いときには室内で遊べる施設や博物館などに行きます。移動中は車内でみんなで歌を歌いながら目的地まで行きます。子どもたちと触れ合うことは私自身とても楽しく、充実した時間を過ごしています。



(3)病院でのレクリエーション活動

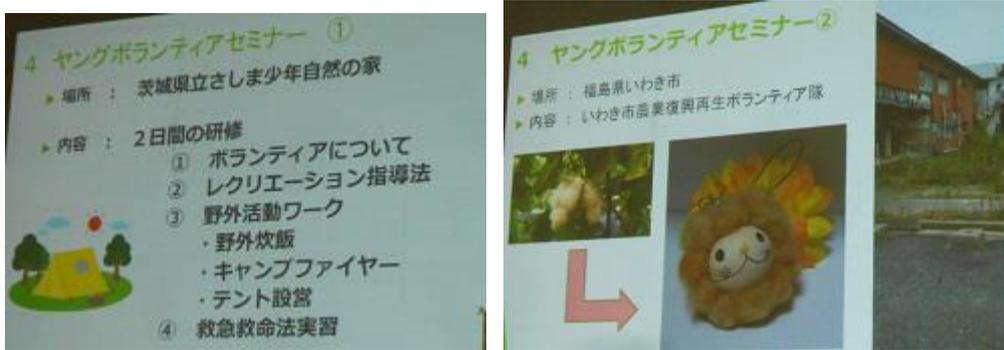
毎週月曜日の放課後にさくら病院に伺い、入院している患者さん達と風船バレーやボーリング、塗り絵など、

4月は母子の健康月間

手の運動を目的としたレクリエーションをしていました。点数などを競ったりするので皆さん楽しんで運動することができます。しかし、耳の聞こえにくい人や目が見えにくい人など、患者さんに合わせて接することが大変でした。歌を歌ったり、季節や好きなもののお話をして患者さんとコミュニケーションを取り親睦を深めることが出来たのはとても楽しかったです。また、七夕やハロウィンクリスマスなどのイベントでは飾り付けをしたりクリスマスパーティーをしたりもしました。しかし、水害後は病院の復旧作業やその後のインフルエンザの流行もあり伺っていません。来年度からまた伺いたいと思います。宜しくお願いいたします。

(4)ヤングボランティアセミナー①

茨城県さしま少年自然の家で行われました。一泊二日の研修でボランティアの心構えなどご指導いただき、特に「レクリエーション指導法」と「救急救命法実習」はとてもためになりました。レクリエーション指導法では初対面の子供たちの緊張と警戒心を解きほぐすゲームを私たち高校生が体験しました。実際、私たち高校生も初対面だったので様々なゲームを通して相手と絆を築くことができました。この経験を来年度の夏の子ども会キャンプにも生かしたいと思います。



ヤングボランティアセミナー②

東関東大震災の被災地、福島県いわき市で「いわき市農業復興再生ボランティア隊」に参加し、主に綿摘みを手伝いました。この綿を材料としてTシャツ、タオル、ストラップを制作販売し売上金を復興支援に寄付しています。

綿摘み後には暖かい手作りスープをいただきました。体が温まりとても美味しかったです。その後には被災地の見学をしました。4年以上たっても被災当時そのままの建物を目の当たりにし、支援を続ける大切さを感じました。

(5)こども会のキャンプ

毎年8月に浄土真宗大谷派「茨城一組若手の会」主催のキャンプ活動をお手伝いしています。子ども40人で、4班作り、高校生が各班1人ずつ担当します。内容は主に、キャンプファイヤー、川遊び、バーベキューを通して子供達と共に多くのことを学びました。私が特に印象に残ったのが川遊びです。素手で魚を獲り自分たちで処理して食べるというものでした。子どもたちも高校生スタッフも改めて命の大切さを実感できました。又、野外炊飯の一環として子供たちとカレーを作り一緒に食べました。また、年齢の異なる色々な子供たちに合わせて接し方を変えるのはとても難しく、とても貴重な体験になりました。



4月は母子の健康月間

(6) 赤い羽根共同募金街頭募金活動

年一回社会福祉協議会の依頼でファインズマスタの店頭で「赤い羽根共同募金」の呼びかけのお手伝いをしています。店頭で実際に声をかけて募金を呼びかけることは、根気の要る作業でとても大変でした。募金の70%は常総市のために使われていて30%は災害時福祉活動に使われているそうです。去年は残念ながら水害で活動を行うことができませんでしたが来年こそ頑張ります！

(7) ふくし祭り

この企画は、毎年10月頃に行われる社会福祉協議会主催のイベントです。障害のある人の気持ちを理解するための車椅子に乗る体験や手話の体験などがあります。私は車椅子に乗る体験をしたのですが、腕力だけに頼って移動したりするのはとても大変なことだと思いましたし、他の人に押しってもらう時は思ったよりスピードを感じたので押す時はゆっくりと歩くように思いました。また車椅子で行動できるバリアフリーの場所が少ないことなど、普段気付かなかった事にも気付くことができました。昨年度は、受付と赤い羽根共同募金の呼びかけなどを行いました。短い時間の中で、ハンデがあることがどれほど大変なのかが身を持って学ぶことができ、自分ももっと貢献していきたいと強く思いました。

(8) 常総水害復興「親子でハロウィンイベント」

去年の9月、関東東北豪雨に見舞われた常総市は甚大な被害を受けました。しかし、その被害に屈することなく、私たち常総市民を元気づけようと企画されたイベントがいくつかあります。その中の一つが「親子でハロウィンイベント」です。このイベントは水害で落ち込んだ親子を励ます目的で開かれました。私たちも少し仮装し“子供達にお菓子を配るグループ”、“ヨーヨー作り”、“綿菓子作り”を担当しました。たくさんの方が訪れ、ハロウィンの雰囲気を楽しんでいる笑顔を見て嬉しかったです。特に私はお菓子ブースを担当したので、お年寄りの方々や、小さな子供たちにお菓子を手渡す時の瞬間は胸に響きました。



(9) その他の活動

9月：常総水害災害ボランティアに参加しました。水害で被害に遭われた方のもとに行き泥出しや漂流ごみの片づけなどを行いました。

10月：常総水害への支援物資整理に参加しました。全国から送られてきた洋服、日用製品、寝具などのしわけを行いました。

11月：森下町で国際交流イベントに参加しました。テント設営や、ブラジル料理作りを手伝いました。

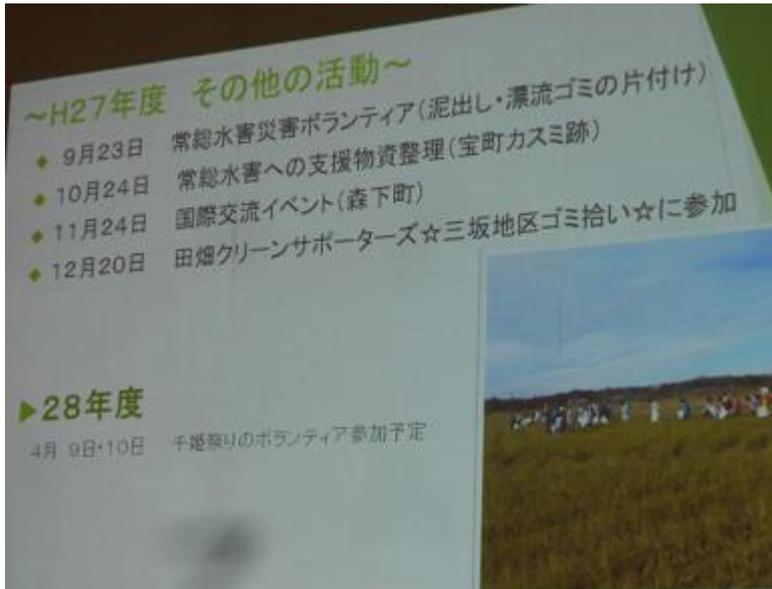
12月：田畑クリーンサポーターズさん主催の三坂地区ごみ拾いに参加しました。田畑に流されたごみをたくさんの

ボランティアの方々が、横一列に並び自分たちの歩く範囲のごみを手作業で拾いました。

28年度は、まず4月9日・10日に千姫祭りのボランティアに参加予定です。

3 最後に：これまでのボランティア活動を通して自分自身成長することができました。この経験を生かして、これからもより多くの人々の助けになれたらいいなと思っています。ご清聴ありがとうございました。

4月は母子の健康月間



出席報告 五木田益城副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
55名	41名	14名	0名	1名	76.36%

ニコニコボックス 青木英男副委員長

入金計 ¥16,000 累計 ¥1,526,000

水海道二高のマルタ会の皆様ようこそ水海道ロータリークラブへ。水海道RC会員一同歓迎申し上げます。

海老原会員

マルタ会の皆様ようこそ。本日宜しくお願ひします。 松崎会員

水海道第二高等学校「マルタ会」の皆様、本日は良くおいでくださいました。本日は楽しみにしております。

石井会員

委嘱状頂きました。 瀬戸会員

前島さん入会おめでとうございます。 山牟田会員

例会欠席しました。 松坂・斎藤・染谷(昭)・古矢・島田・染谷(正) 各会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員



2016-2017 年度

水海道ロータリークラブ組織表

理事・役員一覧

会 長	斎藤 広 已	SAA(役員)	青木 英 男	理 事	古 矢 満
会長エレクト	石塚 克 己	直 前 会 長 (役員)	海老原良夫	理 事	荒井 孝典
副会長(役員)	大塚 令 昌				
幹事(役員)	北村 英 明	理 事	登坂 寛		
会計(役員)	倉持 功典	理 事	秋田 政夫		

副 幹 事	倉持 功典	副 会 計	細野 真哉		
-------	-------	-------	-------	--	--

各委員会一覧

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員	委 員
会員組織委員会	石塚 克 己	青木 清 人	大 串 卓 島 田 勝	松 坂 興 一 熊 谷 昇
会員増強	青木 清 人	草間 春 正	小 島 富 雄	
広 報	大 串 卓	隅屋 祐 三	飯 塚 三 夫	
職業分類	松 坂 興 一	山 崎 善 市	田 上 秀 雄	
会員選考	島 田 勝	染 谷 正 昭	鈴 木 邦 彦	
R 情 報	熊 谷 昇	北 村 仁	長 塚 暁	
クラブ管理運営委員会	大塚 令 昌	五木田益城	石 井 康 弘 瀬 戸 隆 海 山 牟 田 博	青 木 英 男 亀 崎 徳 彦 五 木 田 裕 一
出 席	五木田益城	五木田利明	海老原良夫	雨 谷 道 夫
親睦活動	石 井 康 弘	石 塚 利 明	大 澤 清	鯉 沼 敦 規 染 谷 秀 雄
S A A	青 木 英 男	大 澤 清	武 藤 康 之	前 島 聡
プログラム	瀬 戸 隆 海	荒 井 孝 典	北 村 陽 太 郎	
会 報	亀 崎 徳 彦	福 田 克 比 古	白 井 豊	
雑 誌	山 牟 田 博	鈴 木 茂 徳		
I T	五 木 田 裕 一	砂 長 秀 和	鈴 木 旦 麿	
職業奉仕	古 矢 満	山 野 井 周 一	松 崎 隆 詞	
社会奉仕	秋 田 政 夫	染 谷 正 美	熊 谷 昇	
国際奉仕	荒 井 孝 典	鈴 木 勝 久	瀬 戸 隆 海 青 木 清 人	五 木 田 裕 一
青少年奉仕	登 坂 寛	五 木 田 益 城	廣 井 信	
ロータリー財団	松 村 仁 寿	細 野 真 哉	二 本 松 恭 行	
米 山 奨 学 会	染 谷 秀 雄	本 橋 美 章		